

平成28年度内閣府 地震・津波防災訓練 【徳島県松茂町】

実施報告書 (概要版)



徳島県松茂町について

松茂町は、徳島県の東部にあり、三方が二市一郡に囲まれ、町の東側は海岸線となっています。人口は約15,300人、総面積約14.24km²、町の大部分は旧吉野川と今切川の肥沃な三角州が占めています。

産業は昔から盛んに行われている水産業や農業のほか、工業団地に多くの企業が立地しています。また、町内には徳島県の空の玄関として徳島空港、陸の玄関として高速バスのターミナルを擁するなど徳島県の交通の要所として、人の往来も盛んです。

そのような松茂町も、南海トラフ巨大地震の際は、6mを超える津波により町の広範囲が水没することが予想されるため、津波防災センターの建設や津波避難ビルの拡充など様々な防災・減災対策に取り組んでいます。



地図出展：国土地理院地

訓練概要

■訓練想定：11月5日午前9時に、南海トラフを震源とするM9.0の巨大地震が発生、松茂町では震度6強の揺れを記録、その3分後に大津波警報が発表された。最大6mの津波の到達が予想されることから、町は、ただちに災害対策本部を設置するとともに、防災行政無線等により町内全域に避難指示を発令した。

■実施日時：平成28年11月5日（土）9：00～12：00

シェイクアウト訓練、津波避難訓練	9：00～ 9：45
安否確認訓練	9：00～ 9：45
徳島地方気象台防災講座	9：45～10：00
避難所運営訓練、防災基礎訓練	10：00～11：40
炊き出し訓練	10：30～11：40
主催者挨拶	10：40～12：00

■主 催：内閣府、松茂町

■参加者数：477名（※松茂町職員、防災関係機関等を含む）

■参加機関：各地区自主防災会、気象台、警察、消防、陸上自衛隊、海上自衛隊、社会福祉協議会、日赤奉仕団、幼稚園（3園）、小学校（1校）、徳島防災ネットワーク

当日の訓練内容

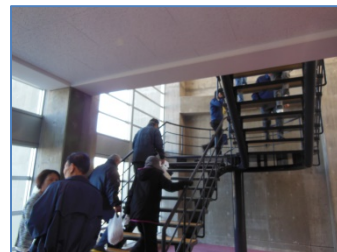
09:00～ シェイクアウト訓練、津波避難訓練

自らの命は自ら守るという「自助」の取り組みに重点を置いたシェイクアウト訓練を喜来・松茂、長原幼稚園、長原小学校で、より高いところへ避難する津波避難訓練を4箇所の津波避難施設で行い、避難行動要支援者も含め発災から津波襲来までの避難行動について確認した。

▼シェイクアウト訓練



▼津波避難訓練



10:00～ 徳島地方気象台による防災講座

津波避難訓練後は、主会場の松茂総合体育館で周辺地域の自主防災会、町民を対象に、徳島地方気象台による防災講座「地震や津波から命を守るために」が行い、緊急地震速報の仕組み、海岸近くで緊急地震速報が発表された場合の行動などについて知識を深めた。

▼防災講座



10:15～ 避難所運営訓練・防災基礎訓練

主会場の避難所運営訓練では、間仕切り等を使用した居住空間の作成、マンホールトイレの設置など避難所運営に必要な技術を習得した。また、防災基礎訓練では、起震車体験、普通救命講座、災害用伝言ダイヤル、ほしいもののリスト入力体験、耐震性水槽給水訓練などの災害時に必要な基礎的防災知識を習得した。

▼避難所運営訓練



▼防災基礎訓練



10:30～ 炊き出し訓練、物資配給訓練

主会場において海上自衛隊（カレー）、日赤奉仕団（豚汁）、松茂町役場（アルファ化米）による炊き出しと社会福祉協議会、徳島防災ネットワークによる災害時の配食要領を訓練した。また、物資配給訓練として備蓄食料（長期保存可能なビスケット）の配給を行った。

▼炊き出し訓練



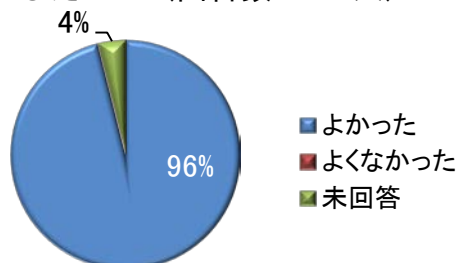
▼物資配給訓練



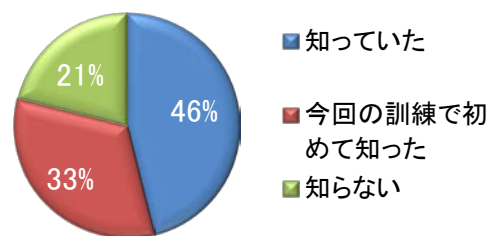
アンケート結果

住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：128人）

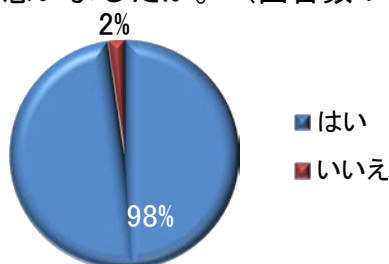
問 地震・津波防災訓練に参加してどう
思いましたか？（回答数：128人）



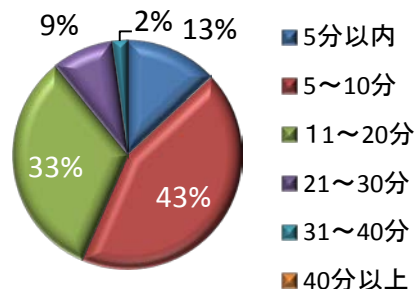
問 11月5日が「津波防災の日」であることを
知っていますか？（回答数：128人）



問 地震が来たら、まず高いところへ逃げ
ようと思いましたか。（回答数：128人）



問 地震発生から避難まで何分くらい
かかりますか（回答数：128人）



訓練の評価

訓練当日は、快晴・温暖な天候に恵まれ、幼稚園・小学校、地域住民、役場職員や防災関係機関等477名が、終始、和やかな雰囲気の中にも、シェイクアウト訓練、津波避難訓練をはじめとする各種訓練に熱心かつ真剣に取り組んでいた。

アンケート結果では、住民の訓練参加に対する評価は「よかった」が96%、「地震が来たらまず高いところへ逃げようと思う」が98%などの結果からも訓練の目的を十分に達成でき、また当初予定にない長原地区の避難行動要支援者が津波避難訓練に自主的に参加するなど、訓練に対する関心の高さを確認することができた。

全体として良好な結果に終わった訓練であったが、今後の訓練、津波避難への反映事項としては以下のような課題が認識された。

●垂直避難訓練の検討

町全体が平坦で海拔が低い松茂町は、発災後40分で到達する巨大津波により町内ほぼ全域の浸水が予想されることから、今回の訓練のように、自宅や学校からの避難訓練のほか、通学途中など、どこにいても最寄りの津波避難ビルへ避難できるような訓練や津波避難行動の啓発が必要である。

●要配慮者の避難行動支援

病院や介護施設における患者や入居者の垂直避難支援要領の訓練が必要である。